

一歩

初の外練習 初めて気づくことも

体育祭の練習が、昨日初めてグラウンドで行われました。

右の写真のように大玉を思いっきり連合の列に大玉を投げている伸び伸びとした練習の姿が素晴らしいと感じました。

このような練習の時に、ふざけてボールの流れを妨げたりする人がいたりすると、その連合の周りの人ががんばりを妨げられていらつき、苦情が出たり、連合がまとまらない原因になったりします。



全校男子種目の騎馬戦の練習も行われました。ほとんどの連合の騎馬が、騎手が馬とうまくマッチしていませんでした。前馬一人と後ろ馬二人の3人が、騎手を乗せたときに重たく苦しんでいたりするのは、後ろ馬の二人が肩を付けることで、騎手は後ろ馬の肩にお尻を載せることができ、後ろ馬の二人も騎手を乗せても腕に重さがかからないため疲れず、痛みを感じることもありません。もちろん、他連合と戦うときは、騎手は立ち上がり高くなって帽子を取られないように戦ってください。

連合練習では、グラウンドのフィールド練習が初めてできました。

おそらく、リーダーは予定通りに進まず、連合の仲間に「話を1回で聞いてほしい」「わかったら、返事を大きな声で返してほしい」「応援歌をもっと大きな声で歌ってほしい」「振り付けや動きを覚えてほしい」と感じているでしょう。

また、リーダー以外の生徒も、リーダーの多くの指示にとまどったり、指示のわかりづらさにとまどったりしている生徒もいることでしょう。

そして、両者とも「もっとうまくなりたい」「連合としてカッコいい応援にしたい」と思っていることでしょう。

きれいなボンボンを使い始めた連合もあります。腕を上げるときに、高く上げるため「肘を伸ばして」高く見せようとポイントを指示している連合もありました。

あと2日で当日です。残り少ない練習を有効に使い、素敵な連合応援を披露してください。

